

EPA条約発効！ワインは安くなる？

2019年2月1日より

日EU経済連携協定により**ワインの関税撤廃**!!

現在は1本につき15% もしくは 125円 /L の関税のどちらかが適用され、ワインの値段にプラスされています。しかし、2019年2月より「**日EU経済連携協定**」により、関税が変更されます。上の図（図1）のように牛肉やチーズなど、EU諸国から輸入する品目に関して現行では高い関税が課せられていますが、この協定により関税が撤廃あるいは関税の減税、段階を経て撤廃というようになっていきます。

日欧EPAで変わる関税

品目	現行	発効後
 牛肉	38.5%	▶ 16年目に9%
 チーズ (カマンベールなど)	原則29.8%	▶ 一定数量の低関税枠 枠内は16年目に無税
 ワイン	ボトル1本で 最大約93円	▶ 即時撤廃
 パスタ	1kg当たり30円	▶ 10年で撤廃

図1 日欧EPAで変わる関税

ワインだけでなく、EUから輸入される食品の関税が変わる。
また、日本からEUへ輸出するものも関税が撤廃、減税される。

Qワインの関税は即時撤廃。家庭へのワインの影響は？

ワインは協定発効と同時に輸入関税が撤廃され、一般的な750ミリットル入りのボトルの場合で最大約94円安くなる。が、・・・ほぼ影響はあまりないのではないかとみられている。関税撤廃の効果よりも昨今の燃料費や原料費の高騰の影響の方がはるかに大きいと、インポーター各社は値下げに踏み切る可能性は弱いと思われる。大手インポーターでは値下げがある一方、小さいインポーターでは現状維持が妥当ではないかと、専門家の中でも議論が巻き起こっている。



イオン、欧州ワイン値下げへ 日欧EPA発効にらみ

サービス・食品 小売り・外食

2018/11/9 11:30 | 日本経済新聞 電子版

保存 共有 印刷 他

幅広く関税を撤廃・削減する日本と欧州連合（EU）の経済連携協定（EPA）が2019年に発効するのを前に、イオンは欧州産ワインを値下げする。19年春までに、自社グループで直接輸入する約500種類を最大1割安くする。小売り各社が欧州産ワインの販売増を期待する中、ワインの販売量が国内シェア1位のイオンの値下げで、価格低下が進みそうだ。

日本経済新聞電子版にてこんな記事も。

【お問い合わせ先】 和・洋酒専門店 **リカーポート蔵家**

〒194-0037 東京都町田市木曽西1-1-15 TEL : 042-793-2176 FAX:042-793-2177

E-Mail : machida@kura-ya.com 営業時間：9時30分～20時 <月曜定休日>